

私たちの将来に提言

市中学生議会を開催

市では、次代を担う中学生に、模擬議会の体験を通じて市の仕組みや市議会の役割を学習してもらおうと7月21日、市議会議事堂において中学生議会を開催しました。

市内4中学校を代表した12人が議員となり、日ごろから疑問に感じていること、これからのまちづくりへの思いなど、さまざまな視点から提言や質問を行いました。

少子化問題について



かわぐち えみ
川口 恵未
議員

(谷和原中 3年)

【質問】
日本は今、少子高齢化社会が問題になっていると公民の授業で学習しました。このつくばみらい市の谷和原中学区の小学校も、今年の1年生の人数がずい

ぶん激減したと聞きました。このままだと、谷和原中学校が閉校になってしまうのではないかと心配です。しかし、みらい平駅周辺は、開発が進み、若い世帯の入居が増えているそうです。学区などの問題もあると思いますが、ぜひ、谷和原中学区の小学校に入学可能にしたいです。つくばみらい市は、新しい街づくりを目指していると思います。その街づくりには、

少子化対策としての方策があるのでしょいか、お尋ねしたいと思います。

私は、少子化対策については、託児所や保育園などの幼児施設の充実が求められているのではないかと考えます。それは、共働きの世帯が多いと予測しているからです。また、安心して遊べる公園や図書室などの施設の充実も図る必要があると考えます。

市長さんは、この少子化対策に向けて、どのような考えをもつて取り組んでいるのか、具体例を挙げて説明してください。

スムーズな議事進行を行った両議長



ますだ ちさと
増田 千慧

議長 (後半の部)

(谷和原中3年)



なかやま しょうや
中山 翔也

議長 (前半の部)

(伊奈中3年)